

# 2022年京都大学地球物理学教室同窓会(京大知球会)報告

2022年(令和4年)2月19日(土)

ZOOMによるオンライン開催

[参加者 講演会:90名, 総会:54名, 懇親会は開催せず]

## I. 公開講演会

12:30-16:35

司会: 田口 聡・吉川 裕

12:30 開会挨拶\*

今脇資郎(会長)

### 【退職記念講演】

12:35-13:15 京都大学の志田先生とレボイル・パシュウイツ傾斜計

Prof. Shida and the Rebeur-Paschwitz tiltmeter at Kyoto University

James Jiro MORI 教授(防災研究所 地震防災研究部門 地震発生機構研究分野)

13:15-13:55 荒ぶる大地の素顔に迫る—「大地動乱の時代」の測地学—

橋本 学 教授(防災研究所 地震予知研究センター 海溝型地震研究領域)

13:55-14:05 休憩

14:05-14:45 活断層の深部をさぐる—野島断層・山崎断層・跡津川断層—

西上 欽也 教授(防災研究所 地震予知研究センター 地震予知情報研究領域)

14:45-15:25 宅地崩壊—都市と斜面の近現代—

釜井 俊孝 教授(防災研究所 斜面災害研究センター 地すべりダイナミクス研究領域)

15:25-15:35 休憩

### 【2021年度修士論文賞受賞者講演】

15:35-15:55 水面波による混合の強度とメカニズムに関する数値実験と室内実験

今村 春香(海洋物理学分科)

15:55-16:15 月周辺におけるホイッスラーモード波のスペクトルについて

—Rising tone の存在とスペクトル形状の空間分布

沢口 航(太陽惑星系電磁気学分科)

16:15-16:35 古第三紀始新世の地形変化による海洋熱塩循環場変化とその力学機構について

田旗 栄太(海洋物理学分科)

### <各講演の概要は別掲>

\*開会挨拶(会長 今脇資郎)

地球物理学教室同窓会(略称:京大知球会)の講演会にご参加いただきありがとうございます。京大知球会は2003年に設立され、毎年春に講演会・総会を開催しています。

今回が 20 回目です。新型コロナウイルス対策のため、去年に続いて今回もオンライン開催となりました。70 名を超える会員の方々から参加申込みがあり、例年の対面での講演会以上の参加者を迎えています。講演会は、知球会会員だけでなく、一般の方にも公開しています。今回も 20 名に近い方々から申込みがありました。

講演会では、叙勲を受けられたり学会等で大きな賞を受賞された会員の方、その春に退職される教室関係の先生方、そして地球物理学関係の大学院の修士論文賞を受賞された方にご講演をお願いしています。

今回は、この 3 月に京大を退職される、いずれも防災研究所の、James Jiro MORI 先生、橋本学先生、西上欣也先生、釜井俊孝先生と、修士論文賞を受賞された、今村春香さん、沢口 航さん、田旗栄太さんの 7 人の方々にご講演をお願いしています。ほぼ研究を終えられた大家の先生方と、研究を始められたばかりの新進気鋭の方々から、多岐にわたるテーマについて話が聞けそうで、大変楽しみです。

さて、最後にオンライン開催について一言。去年の講演会の挨拶では、京大前総長の山極(やまぎわ)寿一先生の「オンラインは文化の力を奪う」という警告を紹介しました。先生は、人間には社交の場が必要で、集まってリズムを共有することが大切、オンラインではそれが難しいと仰っています。確かに、オンライン形式の講演会は、対面の講演会のような臨場感は味わえません。一方、オンライン形式には、参加者が世界のどこにいても参加できるという大きなメリットがあります(実際、今回も海外から数人が参加されています)。また、実用的には、画面共有したスライドが手元でハッキリ見えるなどのメリットがあります。結局、対面形式とオンライン形式はどちらも捨てがたく、ハイブリッドがベストの選択かもしれません。それは今後の検討課題として、ご講演を拝聴したいと思います。

## II. 知球会総会

16:55-18:00

司会：吉川 裕・田口 聡

総会では、退職記念品と修士論文賞副賞品の贈呈につづき、地球物理学教室の近況報告、同窓会の活動報告ならびに議事が行われた。例年であれば、総会の後は懇親会だが、今回は新型コロナ対策のため取り止めた。

開会挨拶	今脇資郎
退職記念品贈呈・修士論文賞副賞贈呈	今脇資郎
教室の近況について 報告	石岡圭一(教室主任)
総務・名簿	吉川 裕

その他

## 議事

- |                  |      |
|------------------|------|
| 1. 会計報告          | 田口 聡 |
| 2. 会計監査報告        | 田中良和 |
| 3. 次期（第11期）会長の選任 | 今脇資郎 |
| 4. 役員（総務）の承認     | 今脇資郎 |
| 5. 規約の改訂         | 今脇資郎 |
| 6. その他           |      |

その他

## 総会の概要

### 1. 開会挨拶

今脇資郎

京大知球会の総会にご出席いただきありがとうございます。会長を務めています今脇資郎です。1968年の卒業で出身は海洋物理学講座（第2講座）です。

先ほどの講演会はいかがだったでしょうか？ オンライン開催はこれが2回目で、まずまずはうまくいったのではないかと私は思います。ご講演いただいた方々、開催のお世話をして頂いた方々、ありがとうございます。

知球会の今年度最大のニュースは、総務を務められていた諏訪浩さんが突然ご逝去されたことです。諏訪さんは去年の5月頃から体調を崩されて入退院を繰り返されていましたが、去る1月14日に帰らぬ人になられました。諏訪さんは、知球会の創設時から幹事、2007年からは総務を15年の永きに亘って務められました。名簿管理や、講演会・総会の開催など、大変な実務の一切を担ってこられました。知球会へのご貢献は計り知れません。これまでのご活動に深謝し、ご冥福をお祈りいたします。

今回のオンラインの講演会・総会の開催に関しては、総務補佐幹事の吉川（裕）さん、会計の田口さん、会計補佐幹事の福田さんに、特にお世話になりました。ありがとうございました。今回は私自身も諏訪さんの代役の一部を引き受けましたが、講演会・総会の準備がどれだけ大変か、諏訪さんのこれまでのご苦勞が身に染みて分かりました。

京大知球会は地球物理学教室の発展と会員相互の親睦を図ることを目的として2003年に発足しました。これで19年経ったこととなります。

去年も紹介しましたが、本家の地球物理学教室は一昨年（2020年）創立百周年を迎えました。教室では去年3月に創立百周年記念の講演会・祝賀会を計画していましたが、今般の新型コロナウイルス対策のために延期となっていました。さらに、後で教室主任の方からご説明がありますが、記念行事の開催は大変残念ながら断念せざるを得ない状況です。創立百周年というのは大変お目出度いことなので、同窓会としては、何か後に残る、記念になることをしたいと思っています。そこで今は、知球会のHPに百周年記

念の寄稿欄を設け、多くの会員の思い出話などを寄せてもらうことを検討しています。実現の暁には、皆さんぜひご協力をお願いいたします。なお、HP の充実を目指して、谷伸さんをリーダーとする数人のチームが検討を開始しました。

最後に、京大は今年創立 125 周年を迎えます。その記念式典と音楽会が、来る 6 月 18 日と 19 日にロームシアター京都（岡崎；京都会館の後継）で開催されます。知球会会長として招待を受けましたので、会員の代表として参列する予定です。

それでは、今日の総会、活発なご議論をお願いいたします。

## 2. 教室の近況について

石岡圭一

基幹講座（地球物理学教室）については、2022 年 1 月 1 日付で、水圏地球物理学講座において吉川裕氏が教授に昇任し、大気圏物理学講座において坂崎貴俊氏が准教授に昇任した。協力講座については、地球熱学研究施設において 2021 年 12 月 1 日付で九州大学から澤山和貴氏が助教に着任した。地磁気世界資料解析センターにおいて 2021 年 4 月 1 日付で名古屋大学から今城峻氏が助教に着任した。防災研究所において 2021 年 4 月 1 日付で学術振興会特別研究員から西川友章氏が助教に着任した。

京大オープンキャンパス時の地球物理のイベントやウェゲナー祭もオンラインでの実施となった。教室では、最近 1・2 回生に地球物理学の魅力がうまく伝えられており、2 回生の終わりでの系 1 次登録で定員を超える希望者が集まることが続いている。特に、2021 年度は地球物理への 3 回生の系登録者が 28 名（定員は 24 名）となり近年希に見る人数になった。地球物理の 2 回生カリキュラムについては、「地球物理学のための数学」と「地球連続体力学」という科目で提供してきた内容を見直し、「地球連続体力学」（同じ科目名のもとで内容を少し変更）と「地球連続体力学からの展開」という科目を 2021 年度からスタートした。履修者は、前者が 59 名、後者が 65 名となっていて、2 回生に地球物理系をアピールする効果を挙げていると考えられる。

2021 年度も 2020 年度に引き続き COVID19 対応が大変であった。感染状況が悪い時期にはかなりの数の講義がオンライン実施になるなど影響は大きかった。ただ、前期の課題演習 DB（流体系）および後期の DC（固体系）/DD（流体系）については対面での実施を続けることができた。まる 2 年間 COVID19 対応を余儀無くされているが、様々な面で IT 化が促進されたことは唯一の良い点かもしれない。

大学院充足率については、2021 年度はかなり改善され、地質鉱物学教室も含めた地球惑星科学専攻全体として、修士充足率は 95%、博士充足率は 99%となった。これらの改善については、特に協力講座における留学生受入れの寄与が大きいので、留学生を積極的に受け入れられている教員の皆様には改めて感謝したい。

## 3. 報告

### (1) 総務・名簿

吉川 裕

(i) 役員会：2021年11月7日(日)に役員会をオンラインで開催して今回の講演会・総会について相談し、準備を開始した。また次期会長候補の推薦と、今後の副会長の役割について検討した。それに伴い総会で規約の改訂を提案することとした。詳細は時間の関係で省略するが、後日HPに掲載する総会報告の後に役員会報告を収録する。

(ii) 会員名簿：名簿原簿は、データを受け取り次第随時更新している。総会の開催案内メールの出欠通知欄に名簿データ記入欄を設けている。また、年度末に学部卒業生と修士課程修了生に、また年度初めに修士課程入学生に対し、会長から、連絡先データの登録・更新を依頼するメールを送信している。これに応えたデータ提供は必ずしも多くないが、毎年数件～十数件の新規登録がある。なお、会員名簿冊子は隔年印刷し総会出席者に配布しているが、今回はオンライン開催のため、印刷・配布は行わない。これまで名簿管理は総務が担当していたが、別に名簿管理担当者を置く予定であり、それまで名簿の改訂は休止される。

(iii) 会員訃報報告：前回総会以降、以下の4名(敬称略)の会員がお亡くなりになったことを報告し、謹んでご冥福をお祈りした。

佐野雄二：2021年5月5日逝去，第3講座(気象)，1966年(昭和41年)学部卒業

藤田政伸：2021年11月13日逝去，第2講座(海洋)，1971年(昭和46年)修士入学

諏訪 浩：2022年1月14日逝去，第2講座(海洋)，1970年(昭和45年)学部卒業，  
本同窓会総務(2007年3月～2022年1月)

塩谷雅人：2022年2月9日逝去，第3講座(気象)，1982年(昭和57年)学部卒業

なお、新たに会員の訃報に接せられた場合には、知球会本部：メールアドレス<chikyukai@kugi.kyoto-u.ac.jp>宛に、情報を速やかにお寄せいただきたい。連絡が通夜・葬儀の前であれば、原則として、会員メーリングリストにより全会員に訃報を連絡することになっている。

## (2) その他 とくになし

## 4. 議事

### (1) 会計報告

田口 聡

次ページの表に基づく2021年(1月1日～12月31日)の会計報告の後、次項の会計監査報告があり、異議なく承認された。

2021年1月1日～12月31日の地球物理学教室同窓会収支					
	項目		収入	支出	残高
収入の部					
	2020年同窓会残高		380,120		
	同窓会会費	¥3,000	3,000		
	名簿購入	¥2,000	2,000		
	同窓会口座利子	4/1, 10/1	2		
		小計	385,122		
支出の部					
	退職者記念品	¥3500 x 3		10,500	
	修士論文賞(副賞)	¥6086 x 3		18,252	
	同窓会準備・アルバイト代	¥5000 x 2		10,000	
	2021年同窓会残高		385,122	38,752	346,370

## (2) 会計監査報告

田中良和

2022年2月17日19時からZOOM会議により京都大学地球物理学教室同窓会の会計監査(期間2021年1月1日から12月31日まで)を行った。会計決算は、諸帳簿と証拠書類等を対照精査したところ、いずれも適正に処理されていることを認めたので、報告する。

## (3) 次期(第11期)会長の選任

今脇資郎

今脇会長より「現会長の任期は2023年春までなので、慣例に従って次期(第11期:2023年春～2025年春)の会長を選任し、直ちに役員会メンバーに加わって頂きたい。役員会としては、石川裕彦氏(1979年3月に気象学講座を卒業;2021年3月に防災研究所を定年退職)を推薦したい」旨の発言があった。会員からは特に発言はなく、石川氏が会長に選任された。続いて石川氏から受諾の挨拶があった。

## (4) 役員(総務)の承認

今脇資郎

今脇会長より「総務の諏訪浩氏が去る1月に逝去されたため、新しい総務を選ぶ必要がある。役員会で相談した結果、会長としては、家森俊彦氏(1975年3月に地球電磁気学講座を卒業;2018年3月に理学研究科を定年退職)を選任したい」旨の発言があり、異議なく承認された(とりあえずの任期は前総務の残任期間の1年)。続いて家森氏から受諾の挨拶があった。

## (5) 規約の改訂

今脇資郎

今脇会長より「現在の副会長が今期限りで勇退されることに伴い、役員会で検討した結果、今後は慣例として副会長を次期会長候補として選出するのが望ましいということになった。副会長の選出は会長の選出と同程度に重要であり、会長と同様に総会で選出すべきであり、次の様に規約を改訂したい」旨の発言があった。

<現在の規約>

---

第9条（役員を選任） <中略>

会長は、総会において選任する。

副会長、会計、総務、監査は、会長が選任し、総会において承認を受ける。

---

<改訂案>

---

第9条（役員を選任） <中略>

会長、副会長は、総会において選任する。

会計、総務、監査は、会長が選任し、総会において承認を受ける。

---

会員より、上記の議題（3）で選任された次期会長と、この改訂案で選ばれる副会長とその後の会長との関係について質問があり、会長から「この改訂が適用されるのは来年度の総会からであり、先ほど選任された次期会長が第11期の会長となり、同期の新副会長が第12期の会長候補となる」との説明があった。他に反対の発言はなく、出席会員の3分の2以上の賛成が得られたものとし、規約の改訂が承認された。

(6) その他 とくになし

5. その他 とくになし

## ZOOM 集合写真

総会終了後、その場で集合写真を撮影

**追記：** 当日保存のZOOM集合写真などを同窓会HPに掲載（会員限定）。アクセスにはユーザー名とパスワードが必要です。お忘れの場合は知球会本部（メールアドレス：[chikyukai@kugi.kyoto-u.ac.jp](mailto:chikyukai@kugi.kyoto-u.ac.jp)）にお尋ね下さい。その節は、お名前とフリガナ、地球物理学教室関係の学部卒業年あるいは修士課程入学年をお知らせ下さい。名簿原簿で対照・確認のうえ情報をお伝えします。

## ——以下は、2021 年 11 月開催の役員会の報告——

日時：2021 年 11 月 7 日（日）14 時～16 時

場所：オンライン会議（ZOOM）

出席者：今脇資郎，入倉 孝次郎，田口 聡，谷 伸，田部井 隆雄，徳田 八郎衛，  
林 泰一，平原和朗，福田洋一，吉川賢一，吉川 裕，荒木 徹（オブザーバー）

### 議題

#### <報告：地球物理学教室百周年記念講演会・祝賀会の開催について>

田口氏より，昨年度の開催を延期して今年度で開催する可能性を残していた標記講演会・祝賀会について以下の報告があった。地球物理学教室の教員会議（10 月 21 日）の決定として，時計台での会場予約ができていた来年 3 月 13 日（日）の記念講演会・祝賀会は開催しない。延期もしない。理由は，新型コロナウイルス対策のため学外者が学内に入れるようになる見通しが立たないためと，3 月に学部入試の追試が行われる可能性があり，その時期まで学事で忙しくなることが想定されるため。オンラインでの開催も（参加者間の交流が図れないので）考えない。教室が主催する百周年記念の行事としては，来年（2022 年）秋に予定されている京大の創立 125 周年記念事業の中で何らかの催しを行うことを今後の検討課題とする。

この報告を受けて以下の議論があった。○知球会は外から開催をサポートする立場にあり，主催者である教室の決定は尊重されるべきである。○今後の検討課題は，当 OB 会として何をするかである。○京大内では開けないので，学外の施設を借りて，OB 会として開催するか。○教室が開催を見送る中で，同じ時期に OB 会が記念講演会を開催するのは避けるべき。○創立百周年は大切な区切りなので何かするべき。○京大が創立 125 周年を迎える中で，地物教室は創立百周年を迎えたことを何らかの形で示す（宣伝する）ことが重要。○百周年の記念に何か行ったことを何らかの形で記録に残すことが重要。○知球会の今度の通常の講演会・総会に，百周年のフレーバーを付けてはどうか。○百周年の機会に，会員の思い出話を知球会の HP に寄稿として自由に載せてはどうか。特に岩崎氏にはぜひ。○死蔵されている古い写真を収集して HP に載せてはどうか。○ただし，写真はアーカイブとしては貴重であるが，一般に公開する場合は個人情報保護の観点から，本人の許可が必要となることに注意。○現在の知球会の HP は地物教室のサーバー上にあり，学外から会員が自由に書き込むのは（セキュリティの点で）無理。また内容については学内者のチェックが必要。現状は，知球会の総務（諏訪氏）から送られた最終原稿を，総務担当幹事（吉川（裕）氏）がチェックした後，技官の人が HP に載せるという手順である。○HP を学外のサーバーに移してはどうか。



結論として、

- (1) 創立百周年を記念して、知球会の HP に寄稿欄を設け、多くの会員に思い出話などを寄せてもらう。自発的には集まらないかもしれないので、会長などが寄稿を依頼することも考える。
- (2) 2022 年秋に予定されている京大の創立 125 周年記念行事に合わせて、地物教室の創立百周年を記念した催しを、できれば教室と一緒に開催する。
- (3) 将来的に、知球会の HP を外部のサーバーに移すことも検討する。

## 1. 「講演会・総会・懇親会」の開催について

### (a) 開催形式と日程

創立百周年記念講演会が対面でもオンラインでも開催されないことになったため、知球会の講演会・総会を通常通りの形で開催することにした。新型コロナ対策を考慮して、今回も ZOOM によるオンライン開催とする。教室の修士論文発表会（2月7日と8日）の後の土曜日として、2022年2月19日（土）に開催する（教室の学事スケジュールを考えるとこの日がベスト）。講演会の ZOOM のホストは吉川（裕）氏（総務補佐幹事）が、総会のホストは田口氏（会計）が務める。前回の反省から、事前にプレゼンの練習（確認）を行う。講演会には一般市民の参加も呼び掛ける。

### (b) 公開講演会の講師

講師は例年、活躍されている現職の会員、当該年度の退職者、褒章・叙勲等の受章者、学会賞等の受賞者、修士論文賞の受賞者などを候補者としている。今回は、今年秋に叙勲を受章された○福田 喬氏（元電気通信大学長）と、今年度の退職者である、いずれも防災研の、○James Jiro MORI 教授（地震防災研究部門：地震発生機構研究分野）、○橋本 学教授（地震予知研究センター：海溝型地震研究領域）、○西上 欽也教授（地震予知研究センター：地震予知情報研究領域）、○釜井俊孝教授（斜面災害研究センター：地すべりダイナミクス研究領域）の5名に、○修士論文賞受賞者の2～3名を加えた7～8名を候補者とする。昨年度の7名に対して今年度は最大8名となるが、プログラムの時間配分を調整して対応することとした。会長が講演依頼のメールを送る。

### (c) 総会

議題として、会計・監査報告、次期会長の選任、規約の改訂などを取り上げることとした。

### (d) 懇親会

オンライン開催なので、懇親会は見送りとした。

## 2. 会長選考委員会の報告

会長より、会長選考委員会が行った会長・副会長の選考に関する検討の結果について、別紙「了解事項」を基に報告があった。主な変更点は、(1) 会長の任期は、慣例として 1 期 (2 年) とする。(2) 慣例として、次期会長候補を副会長とする。の 2 点であるが、異議なく了承された。

## 3. 次期会長候補者の推薦について

【現会長の任期は 2023 年春まで⇒今度の総会で次の会長を選任⇒この役員会で候補者を推薦】というスケジュールの中で、会長より、会長選考委員会で検討した結果、石川裕彦 (ひろひこ) 氏 (気象学講座 1979 年卒; 元 防災研 暴風雨・気象環境研究分野 教授) を推薦したい旨の提案があり、異議なく了承され、総会に提案することとした。

## 4. 規約の改訂について

会長より、上記 2 で、慣例として、次期会長候補を副会長とするのが望ましいとしたことに伴い、副会長の選出に関する規約を以下のように改訂したい旨の提案があり、異議なく了承された。総会での 2/3 の賛成で改訂が成立する。

<現在の規約>

-----  
第 9 条 (役員を選任) <中略>

会長は、総会において選任する。

副会長、会計、総務、監査は、会長が選任し、総会において承認を受ける。

<中略>

-----  
<改訂案>

-----  
第 9 条 (役員を選任) <中略>

会長、副会長は、総会において選任する。

会計、総務、監査は、会長が選任し、総会において承認を受ける。

<中略>

## 5. その他

(a) 「講演会・総会」の開催案内

これまで通り、会員の他に、学内者や一般市民にも参加を呼び掛ける。

また、京大同窓会からも開催案内を KUON 登録者に送ってもらう。

(b) 退職記念講演者への記念品と修士論文賞の副賞

昨年と同様に、退職記念講演者にはタンブラー、修士論文賞受賞者にはクスノキ時計（京大オリジナル；できれば置時計）を贈呈する。名前を刻印するのに2～3週間掛かるので、当日は形だけの贈呈にし、現物は後日渡すことになる。

(c) 会員の動向に関する情報交換

会長より、特に他界者の情報をなるべく早く総務（諏訪氏）に届けて欲しい旨の依頼があった。

(d) 地球物理学教室創立百周年記念事業（講演会以外）

この項目での発言はなかった。

(e) ホームページの充実

知球会創立期の事情の記録を8月に掲載した。懸案のHP画面の刷新は進んでいない。HPを充実させるためには何らかの仕掛けが必要であるとの発言があり、役員会の中にHPの充実を計る作業グループ（WG）を設けることとした。当面のメンバーは、谷（リーダー）、林、平原、福田、吉川（賢）の各氏（5名）とする。[会議の後の相談で、知球会側の窓口としてHP担当者を決めておき、完成度の高い最終原稿を渡すことになった。]

(f) 会員名簿の更新

名簿の更新は随時行っている。会員への印刷冊子の配布は、対面での総会の際に行っている。次の総会はオンラインなので配布はしない。

(g) 知球会の活性化

特に発言なし。

(h) その他

特に発言なし。

## 報告

1. 京大知球会関東支部総会・講演会

2021年11月20日（土）14:30～16:45に、ZOOMによるオンラインで開催する予定。講演者は竹村恵二氏（元理学研究科附属 地球熱学研究施設長；別府）。

2. 京都大学同窓会

なし。

3. その他

なし。

<次ページに別紙>

2021年10月30日

## 京大知球会・会長選考委員会・了解事項（役員会に提案）

会長・今脇資郎

主な役割：会長選考に関する基本的な考え方を整理し、それに沿って第11期（2023年春～2025年春）の会長候補を選考する

委員：会長（今脇資郎）、副会長（岩崎好規）、総務（諏訪浩）、会計（田口聡）、前会長（入倉孝次郎）  
オブザーバー：前々会長（荒木徹）、前会計（福田洋一）

議論の形態・経過：

2021年5～10月に断続的にメール審議；10月7日にオンライン会議

了解事項：

- (a) 会長の任期は、慣例として1期（2年）とする。
- (b) 慣例として、次期会長候補を副会長とする。それに沿って規約を改訂する（副会長も、会長と同じく、総会で選ぶ）
- (c) 会長・副会長候補者の選考の手順

---

役員会に選考委員会を設け、会長・副会長候補者の選考に関する以下の作業を行う。

- (1) 役員会メンバーから候補者の推薦を受ける。
- (2) 複数の適任者のリストを作る。
- (3) リストの候補者の適性、事情を調査し、最適者から順位を付ける。  
その際、出身講座にはこだわらないが、固体系・流体系のどちらかに偏らない順番が望ましいことに留意する。
- (4) 順位に従って諾否の見込みを調べ、選考結果を役員会に報告する。

---

(d) 会長・副会長候補者の選考のガイドライン

- (1) 会長としての適性・健康に問題がないこと
- (2) できれば、京大で地球物理学関係の教育を受けた会員
- (3) できれば、フルタイムの職を退いて間のない若い人
- (4) どちらかと言えば、京都近辺在住者が望ましい

---

(e) 第11期（次期）の会長について、適任者のリストを基にしてオンライン会議で2名の候補者（順位付）を選んだ。後日、候補者から内諾を得た。

(f) 若い世代の参加を促す方策については、ホームページを充実させるほかツイッターなどのSNSを活用して会員間の情報交換を促進するなどの案が出た。次期会長も加わって今後さらに検討することとした。

<以上>

12

————— 以上は，2021年11月開催の役員会の報告 —————